

### ■米国：元ニューヨーク市長、クリーンエネルギー100%の活動を支援

2019年3月5日付の現地報道によると、米国の大手通信社 Bloomberg の創業者でもあるマイケル・ブルームバーグ元ニューヨーク市長（民主党）は2019年3月5日、2020年の大統領選挙への不出馬を表明した。また、ブルームバーグ氏は「(民主党のオカシオ・コルテス連邦下院議員らが提案した) グリーン・ニューディールのアイデアは、今後2年間で上院を通過する可能性はない」と述べ、今後、米国におけるクリーンエネルギー100%を支援するため、石炭火力発電所の段階的な廃止や気候変動の影響を軽減するための活動を始めるとした。具体的には、今後11年以内にすべての米国の石炭火力発電所の廃止を構想する「Beyond Coal」への支持拡大や、米国のエネルギーミックスにおける化石燃料の役割を減らしクリーンエネルギー100%経済を目指す「Beyond Carbon」などのキャンペーンに、市民として支援を行っていくとしている。